

窓

京都新聞 令和元年（2019年）12月4日（水）

勇気をくれた弟のプレー

城陽市・南本 葵衣（大学生・19）

私は7月、高校野球京都大会の観戦へ足を運んだ。一つ下の弟が最後の大会として出場していた。

その頃、私は4週間の保育所実習を1カ月先に控え

ていて忙しい上に、アルバイトに明け暮れて慌ただしい日常が続いた。日に日に自分から笑顔が減っていくのを感じた。少しリフレッシューがしたくて、弟の試合

を見に行った。

打席に立つ姿、守備につく姿が私にはすごく輝いて見えた。どんな状況になっても仲間と声を掛け合い、諦めずに一生懸命プレーする姿に、私は心を打たれた。今までにないぐらいの勇気をもらった。試合が悔しい結果に終わり涙する弟はかっこよかった。私も実習を一生懸命に頑張り、かっこいい姉の姿を見せられるようにしたいと思った。

4週間の実習を無事に終えることができた。何度もつらい時はあったが、弟がくれた勇気のおかげで、最後まで諦めずに頑張り続けられた。

弟へ。直接は言えないが、私に勇気をありがとう。

※無断転載不可